

	北海道大学 保健系分野 (看護学・医療技術学、学際・特定)
学部・研究科名	<p>医学部保健学科</p> <p>看護学専攻 (第1年次:70名、第3年次:10名)</p> <p>放射線技術科学専攻 (第1年次:37名、第3年次:3名)</p> <p>検査技術科学専攻 (第1年次:37名、第3年次:3名)</p> <p>理学療法学専攻 (第1年次:18名、第3年次:2名)</p> <p>作業療法学専攻 (第1年次:18名、第3年次:2名)</p> <p>大学院保健科学院 (M:26名、D:8名)</p>
沿革・設置目的	<p>北海道大学医学部附属看護学校、附属助産婦学校、附属診療エックス線技師学校、附属衛生検査技師学校を経て、北海道大学医療技術短期大学部が設置された後、平成15年、看護学、放射線技術科学、検査技術科学、理学療法学、作業療法学に関する教育・研究を行うことを目的とした医学部保健学科として設置された。</p> <p>昭和22年 (1947年) 新制北海道大学設置</p> <p>昭和26年 (1951年) 医学部附属看護学校設置</p> <p>昭和27年 (1952年) 医学部附属助産婦学校設置</p> <p>昭和31年 (1956年) 医学部附属診療エックス線技師学校設置 (昭和44年 (1969年) に医学部附属診療放射線技師学校へ改組)</p> <p>昭和41年 (1966年) 医学部附属衛生検査技師学校設置 (昭和47年 (1972年) に医学部附属臨床検査技師学校へ改組)</p> <p>昭和55年 (1980年) 医療技術短期大学部設置</p> <p>平成15年 (2003年) 医学部保健学科設置</p> <p>平成16年 (2004年) 国立大学法人に移行</p> <p>平成20年 (2008年) 大学院保健科学研究院及び大学院保健科学院保健科学専攻修士課程設置 (平成22年 (2010年) に博士後期課程を設置)</p>
強みや特色などの役割	<p>○ 「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」、「実学の重視」の四つの基本理念のもと、保健医療に関する高度な専門的知識・技術とともに豊かな人間性と知的好奇心・探究心を育み、地域社会や国際的な場において指導的な役割を担う専門職人材及び教育・研究者を育成する。</p>

- 大学院においては、学内外の医療機関との連携に基づいた臨床指導や研究指導、国内外機関との交流プログラムを充実させ、予防医学に重点を置いた次世代の保健科学を担う高度実践者及び教育・研究者を養成する。
- 潜在助産師の復職支援、看護師のキャリアシステム支援プログラムの構築、地域医療や健康支援を目的とした遠隔健康相談システムの実用化等の取組を推進し、保健医療に関する地域間格差の是正を図る。
- 産学官連携や国内外の大学等との連携を活かしつつ、「食と健康」「環境と健康」に焦点をあてた研究、「生活習慣病予防」「在宅生活支援」を目的とする研究を推進し、北海道の特色を活かした保健科学の発展と先進的地域保健体制の構築を通して、地域社会への貢献に資する。